

会派視察研修計画書

令和 5年 6月 22日

碧南市議会議長 様

会派名 志政会
 代表者名 志政

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

| | | |
|---------|---|--|
| 参加議員 | 沓名 宏、磯貝 忠通、岩月 ひろし、生田 綱夫 | |
| 日 時 | 令和5年7月19日（水）～令和5年7月21日（金） | |
| 視 察 先 | 北海道夕張郡由仁町、北海道石狩郡当別町、 (株) ファイターズスポーツ&エンターテイメント | |
| 研 修 内 容 | 由仁町「スマート農業について」 当別町「義務教育学校『とうべつ学園』について」「ロイズタウン駅について」 (株) ファイターズスポーツ&エンターテイメント「ボールパークがもたらす効果について」 | |
| 日 程 | 1日目 碧南中央駅～電車にて中部国際空港～飛行機にて新千歳空港～電車にて由仁町（研修）～電車にて札幌市近郊（宿泊） ※由仁町、当別町共に宿泊施設の確保不可 2日目 電車にて当別町（研修）～電車にて北広島市（宿泊） 3日目 徒歩またはタクシーにてボールパーク～電車にて新千歳空港～飛行機にて中部国際空港～電車にて碧南中央駅 | |
| 交 通 手 段 | <input type="checkbox"/> 公共交通機関利用 乗降車駅名（碧南中央、中部国際空港、新千歳空港、由仁、札幌、当別、北広島） | <input type="checkbox"/> 自家用車利用 _____ 台 所有者名（ _____ ） |

(議会事務局記入)

| | |
|---------|-------|
| 旅 費 の 額 | (内 訳) |
| 円 | |

様式14

会派視察研修報告書

令和5年8月25日

碧南市議会議長 様

会派名 志政会

代表者名 ノグチ 光

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 4 人分の視察研修成果報告書を添付いたします。

| | |
|------------------|---|
| 参加議員 | 沓名 宏、生田綱夫、磯貝忠通、岩月ひろし |
| 日時 | 令和5年7月19日（水）～ 令和5年7月21日（金） |
| 視察先 | 北海道夕張郡由仁町（及び（株）チュプチニカ） 北海道石狩郡当別町 （株）ファイターズスポーツ&エンターテイメント |
| 研修内容 | 由仁町「スマート農業について」 当別町「義務教育学校『とうべつ学園』について」「ロイズタウン駅について」 （株）ファイターズスポーツ&エンターテイメント「ボールパークがもたらす効果について」 |
| 視察先面会者 又は講師名等 | 由仁町産業振興課長 関澤和之氏 （株）チュプチニカ 中川善教氏 当別町事業推進課長 高田浩司氏、学校教育課主任 高橋侑己氏 （株）ファイターズスポーツ&エンターテイメント 大西真帆氏 |
| 備考 | |

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和 5年 8月 25日

議員氏名 が 名 宏

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和5年7月19日（水）～令和5年7月21日（金）
- 2 視察先 北海道由仁町・当別町・北広島市
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

一日目は、当市と青年友好都市でもある由仁町に表敬も兼ね「スマート農業」について説明を受けた。碧南市に本社を置く企業が旧小学校を買い取りドローンでの農薬散布や農機自動操縦システムなどのIT技術の使い方を研究し、かなりの実証成果がでている。碧南市の農業でも近いうちに実用化されることを期待したい。

二日目は、当別町で進められている「小中一貫教育」について伺った。令和2年に当別村から施行150年迎えた歴史ある町である。昭和40年では、小学校15校、中学校9校あったが、統廃合を繰り返し平成28年には、小中2校にまでなり令和4年小中1校になり、一貫校として発足した。人口の減少で、各学年40～50人いるので2クラスが確保されている。碧南市においては、2クラスある小学校の現状ではあまり考えなくてもいいのかもしれない。義務教育一貫校は碧南市においてある地域だけあってもいいのかもしれない。

最終日は、北広島市にある「ES CON FIELD」を視察しました。札幌ドームに本拠地としていた日本ハムがこの施設に移転され、北広島市揚げての誘致であったそうである。人口の上昇率も高く周りの造成もかなり進んでいる。札幌のベットタウンとしても発展していくことでしょう。

三日間お世話になった関係各位に感謝を申し上げ、視察報告といたします。

視察研修成果報告書

令和5年8月25日

議員氏名 磯貝忠通

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和5年7月19日（水）～令和5年7月21日（金）
- 2 視察先 ①北海道夕張郡由仁町 ・株式会社チュプチニカ
②北海道石狩郡当別町
③北海道北広島市 Fビレッジ 「(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメント」
- 3 視察の種類 ①由仁町 「スマート農業について」
②当別町 「義務教育学校『とうべつ学園について』」
「ロイズタウン駅について」
③Fビレッジ 「ボールパークがもたらす効果について」

4 視察の成果等

碧南市と青年友好姉妹都市である由仁町では、農家戸数と農業就業人口の減少から後継者不足が深刻化しており、ドローンなどの先端技術を活用した「スマート農業」の実践導入をしている。特に、碧南市に本社のある日進工業(株)の現地法人である㈱チュプチニカは、廃校となった校舎を購入し、ドローンを研究開発している。それによる農薬散布は、生産性の向上に寄与するものだと確信した。

次に、札幌市に隣接し、人口約1万5千人余、面積422km²余(南北の距離は約45km)の当別町では、昭和40年には小学校15校、中学校9校あったのが、現在小中一貫校の義務教育学校とうべつ学園と西当別地区にある小学校1校、中学校1校に統廃合された。

義務教育学校とうべつ学園では、遠距離からの通学児童に対しては、バスで送迎している。学力の低下傾向にあった当別町では、とうべつ学園を小中一貫校にしたことにより、児童や教員同士の交流が活発となり、学力の向上が顕著に表れているようだ。特に小学1年生より英語の授業が行われ、令和4年度の中学校英検I B Aでは各学年相当を上回る成績を残している。また、当別町では、ふるさと納税が約30億円程度あり、そのうちの8割ほどが町内に工場のあるチョコレートメーカーのロイズである。町はJ R北海道と共同で、J R札沼線にロイズタウン駅を新設し、新しい顔づくりプロジェクトを実施している。ロイズ工場では、平日にもかかわらず多くの買い物客でにぎわっていた。

最後に、2023年より北海道日本ハムファイターズが本拠地を移した北広島市のHOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE(Fビレッジ)では、約32haという広大な敷地を有している。

球場のデザインも画期的ながら、野球の試合を観戦するための施設ではなく、ファン・パートナー・地域住民と一体となって、地域社会の活性化や社会への貢献につながる「共同創造空間」を目指している。具体的には、自然と共存する次世代ライブエンターテインメントや心身を育むウェルネスソリューション、文化交流が活発な街づくりを目指している。大都市札幌市に隣接していながらも、独自のまちづくりに邁進し、Fビレッジの周辺にも新たなお店、集客施設、マンションなどが建設されつつあり、十分な経済効果を発揮していると感じた。

様式15

視察研修成果報告書

令和5年8月25日

議員氏名 岩月 ひとし

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和5年7月19日(水)～令和5年7月21日(金)
- 2 視察先 (1)北海道夕張郡由仁町(2)北海道石狩郡当別町(3)北海道北広島市
- 3 視察の種類 行政視察
- 4 視察の成果等

別添

4 視察の成果等

(1)視察先 北海道夕張郡由仁町

研修内容『スマート農業について』

ア 農業IoTについて

(ア)農薬散布用ドローンについての考察。

大豆・麦・米と集約された農地において、担い手不足と人件費の高騰に悩まされている農家にとって、効率的な作業が可能となっている。

また、導入費用もドローン本体は200万円以下の高性能な機体もあり、比較的小規模の農家でも導入可能となっている。

碧南市の農家での導入可能性については、農業生産物のエリア分けが、ハッキリしていない場所や民家と隣接する農地も多く、

『農薬散布』となると、農薬飛散問題もあり、かなり難しいと思えた。

碧南市の農家では、まだまだ、使用するのは困難であろう。



(イ)後付け農機自動操縦システムについての考察

農機具メーカーのブランドを問わず、トラクター、田植え機等に装着して、調整後直進作業を実現した。完全自動操縦への拡張性もあり、省人化にかなり貢献しそうな技術である。碧南市の農家においても、今後、導入を進めていく農家も現れるように思えた。

しかし、やはり、問題点としては、一軒いっけんの農家が点在している農地を耕作している現状もあり、非常に困難ではあろうが農地の集約を進めていかなければ効率的な作業は実現しないであろう。



自動操縦の体験を
分かりやすくするために
ハンドルから手を
離している画像

(2) 北海道石狩郡当別町

研修内容 『とうべつ学園について』・『ロイズタウン駅について』

ア 小中一貫校について

(ア)とうべつ学園についての考察。

当別町教育委員会の説明によると、過疎化や児童減少による統合が主な目的ではないと説明を受けた。2015年に、地域に住む子ども達の学力向上を目指し、知・徳・体のバランスのとれた人材育成を目標として、2017年より小中一貫教育を導入した。その結果、2022年現在、学力向上がみられた反面、地元の当別高校への進学希望者が減るといったジレンマをかかえているようだ。

(イ)西当別地域にある、施設分離型小中一貫校についての考察

当別町内の地域間での考え方の違いが推察される、現状は小学校施設中学校施設を従来の施設を利用したままでの小中一貫校ということである。施設更新の時期にあたって、

『とうべつ学園』への統合か、新たな施設一体型の小中一貫校にするか検討されることになるであろう。

(ウ)碧南市において、小中一貫校実現の可能性は、児童減少傾向にある、西端地区において考えうるが、愛知県においては一部の県立高校で中高一貫教育が実施されることになっており、論点が複雑になってきている。

イ 『ロイズタウン駅』について

(ア)ロイズについて

「北海道」から「世界」へ。

国内外で愛される「心に残るチョコレート」づくりを目標に掲げる、株式会社ロイズコンフェクト。

ふるさと応援寄附金は当別町に企業単体で約30億円貢献している。

創業者が当別町出身であること、

冷涼、低温な気候から当別町太美地区に大規模工場を構えた。

立地的には北の大都市札幌市に隣接し、北の空の玄関口千歳空港、そして海には石狩湾新港へのアクセスの利便性が望める場所である。

(イ)ロイズタウン駅を新設した経緯は、従業員や近隣住民のためというよりは、むしろ、工場を観光施設ととらえて、工場に隣接する「ロイズのお菓子」を目当てに訪れる観光客のための駅となっている。駅周辺のまちづくりは新たな計画はないとされ、駅の西側の限られた区域のみ、ロータリーと駐車場が整備された。

(ウ)碧南市における考察

日鉄ステンレス衣浦事業所の跡地に観光集客力のある、事業者が進出してきた場合、数々の課題は有ると思われるが、隣接する衣浦臨海鉄道に新駅を設置することも可能性はあるように思えた。



(3)「ボールパークがもたらす効果について」

ア ボールパークとは、プロ野球チーム北海道日本ハムファイターズの新球場を核に、野球観戦だけでなく、試合が無い日でも、買い物や食事、レジャーを楽しむことができる賑わいや交流を創出するエリアで構成される空間とされる。

イ 立地する北広島市だけでなく、圏域17市町村が連携し、北海道の価値魅力向上および成長・発展に寄与する取り組みの実現を目指している。

ウ 立地した北広島市は地価上昇率日本一(もともとの地価が低かったであろう)となり、いわゆる「ボールパーク効果」を顕著に受け、固定資産税収入の増加の恩恵を受けているであろう。

しかしながら、まだ、未整備の場所、道路もあるであろうが球場へのアクセスの問題もあり、視察した当日は試合開催日ではなかったが、球場ができる前から

居住する住民にとって不便を感じる向きもあるであろう。

エ 碧南市における考察

日鉄ステンレス衣浦事業所の跡地に、仮に大企業が「ボールパーク」を作るようなことがあるならば、四車線化が進む国道419号線へのアクセスも良く、名古屋市圏や西三河圏からの集客も見込め、また、セントレア空港、東海道新幹線からのアクセスも悪いとはいえないので、場合によっては

衣浦臨海鉄道に新駅を設置するなどして、利便性を向上することもありうる。

夢のような構想ではあるが、碧南市において、仮に話が持ち上がった場合、北海道のボールパークの事例を良く研究し、碧南市だけが恩恵を受けるのではなく、圏域を広げて総合的に進めて行かなくてはならないと感じた。



視察研修報告書

令和5年8月16日

米田 綱夫

議員氏名

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和5年7月19日（水）～令和5年7月21日（金）
- 2 視察先 北海道夕張郡由仁町 石狩郡別当町 北広島市
- 3 視察の種類 会派視察研修 志政会
- 4 視察の成果等

研修所感

由仁町ではスマート農業について視察しました。併せて碧南市の日進工業が由仁町にて事業進出しているチュプチニカも同様に視察。

農業が後継者不足により衰退化している中で対策として、省力化や生産性の向上を図って行くことを目的として実用化されている。

今までの農業と比べると経費的な面や時間的な有意義性がかなり伺えると思いましたが、あくまで北海道と言う広大な農地を対象とした場合には非常に有効な手段と思われるが、碧南での価値は無くはないが色々と問題点もあると思いました。特にドローンによる農薬散布の理解がされにくいと思われる。

当別町では小中一貫教育について視察しました。地域的な問題と少子化の問題により昭和40年小学校15校・中学9校あったのが現在は2校づつになった事にも影響がでているようです。小中9年間を一貫教育出来る事のメリットは多くあるが、合併の連続で通学に影響も出てきていることも否めない。

中学教員の専門性が小学生にも利用できる環境であることにより充実した教育が受けられているとも思われた。